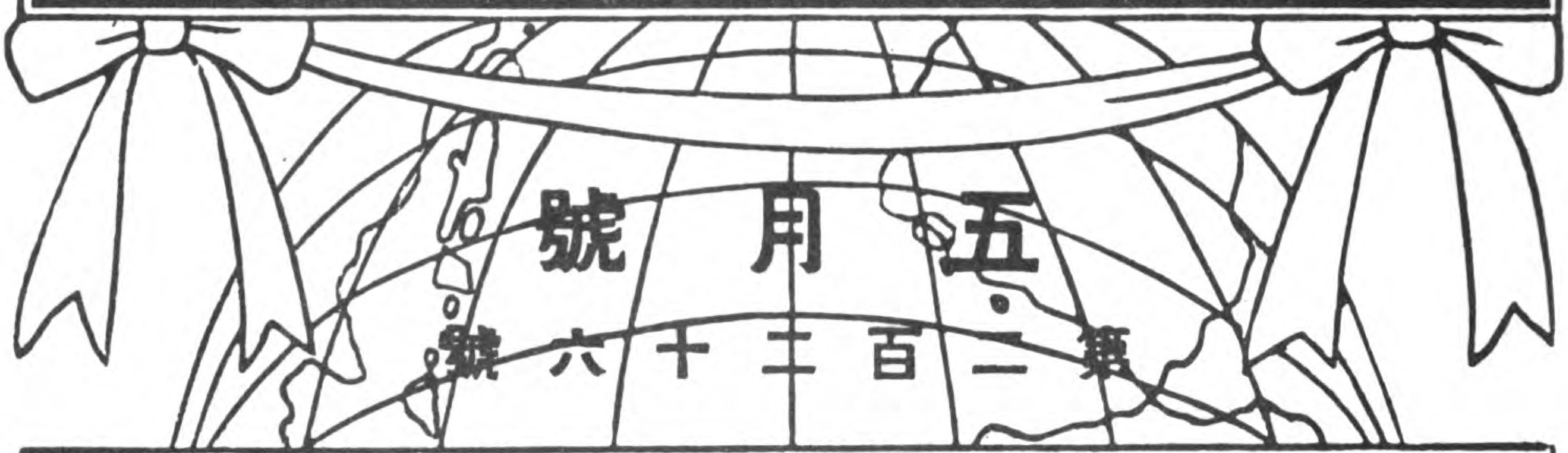
大會號

婦人新報



五月號

第二百二十六號

婦人新報第二百二十六號目次

一 名譽の賞旗　矢島揖子
一 先づ根本に培へ　久布白落實
一 人生の行旅　山室軍平
一 人格の眞價　廣岡淺子
一 天使のお見舞（上）　安中花子
一 八十八島　德富久子
一 逝ける女詩人ノルトン女史　蘇花
一 大會記錄（第廿四回）　會場書記
　特別集會記錄
一 各地通信――本部、慈愛舘、小石川、吳、原市、神田、水戸、公娼全廢運動初日誌
一 編輯室より　エー、エム、
一 英文　O、K、

基督教婦人矯風會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産婦人科
小兒科

鷲山改め
女醫 吉田彌生

△院長診療 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後

産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京市麹町區飯田町
四丁目三十一番地

東京至誠病院

電話番町二二五七番

社告

◎婦人新報定價（郵税共）
一部（前金） 金六錢
六部（前金） 金三十五錢
十二部（前金） 金七十錢
（郵劵代用一割増）

◎廣告料
一行（五號活字） 金十錢

編輯及事務所 赤坂區溜池町三番地 婦人矯風會事務所
電話新橋一〇三六
振替口座東京三二四六九

大正五年四月廿六日印刷
大正五年四月廿八日發行

發行兼印刷人 矢島楫
編輯人 高原孝

發行所 東京赤坂區溜池三番地 婦人矯風會事務所 婦人新報社

印刷所 東京京橋區銀座四丁目 福音印刷合資會社東京支店

No. 226. May, 1916.

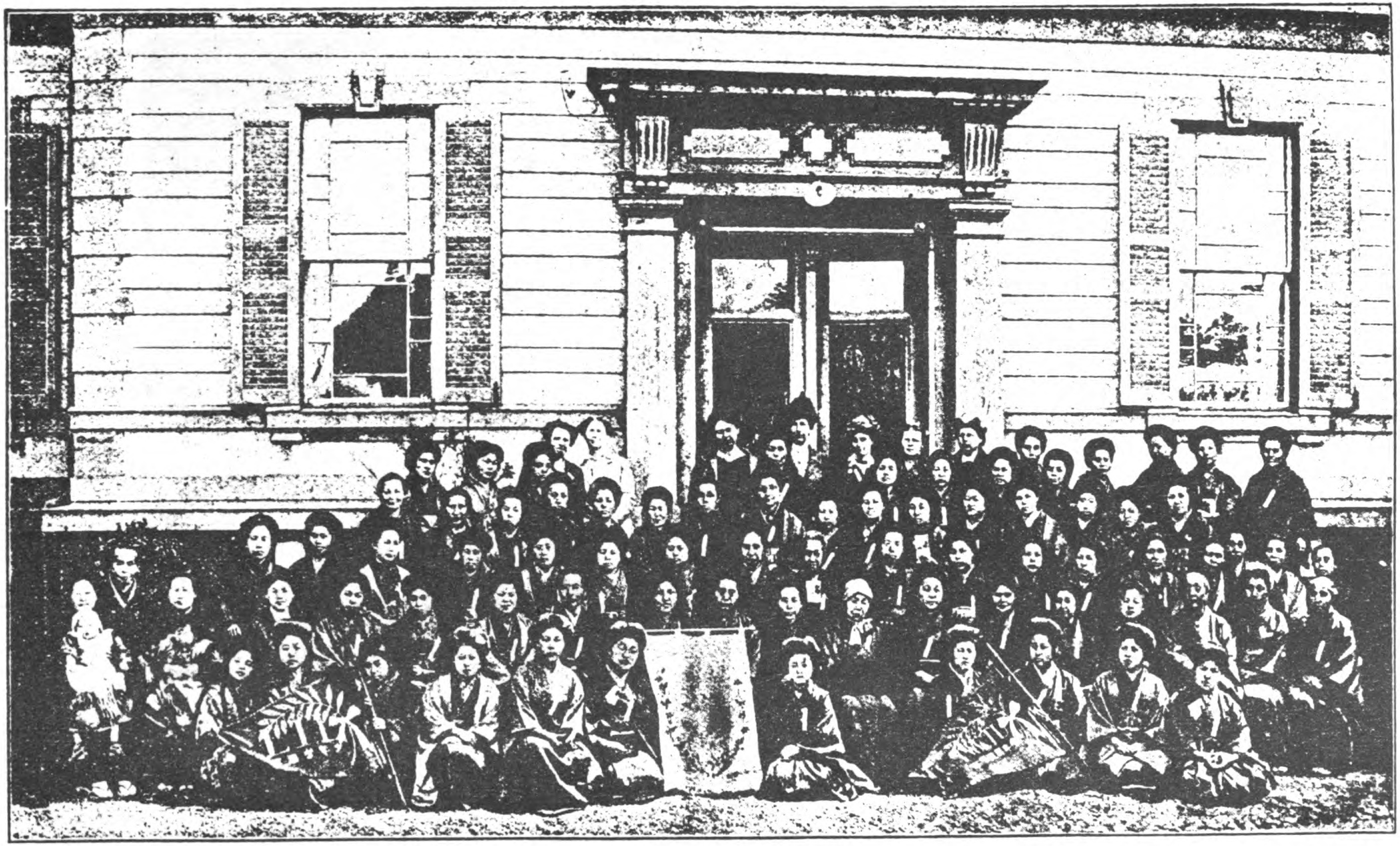
WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

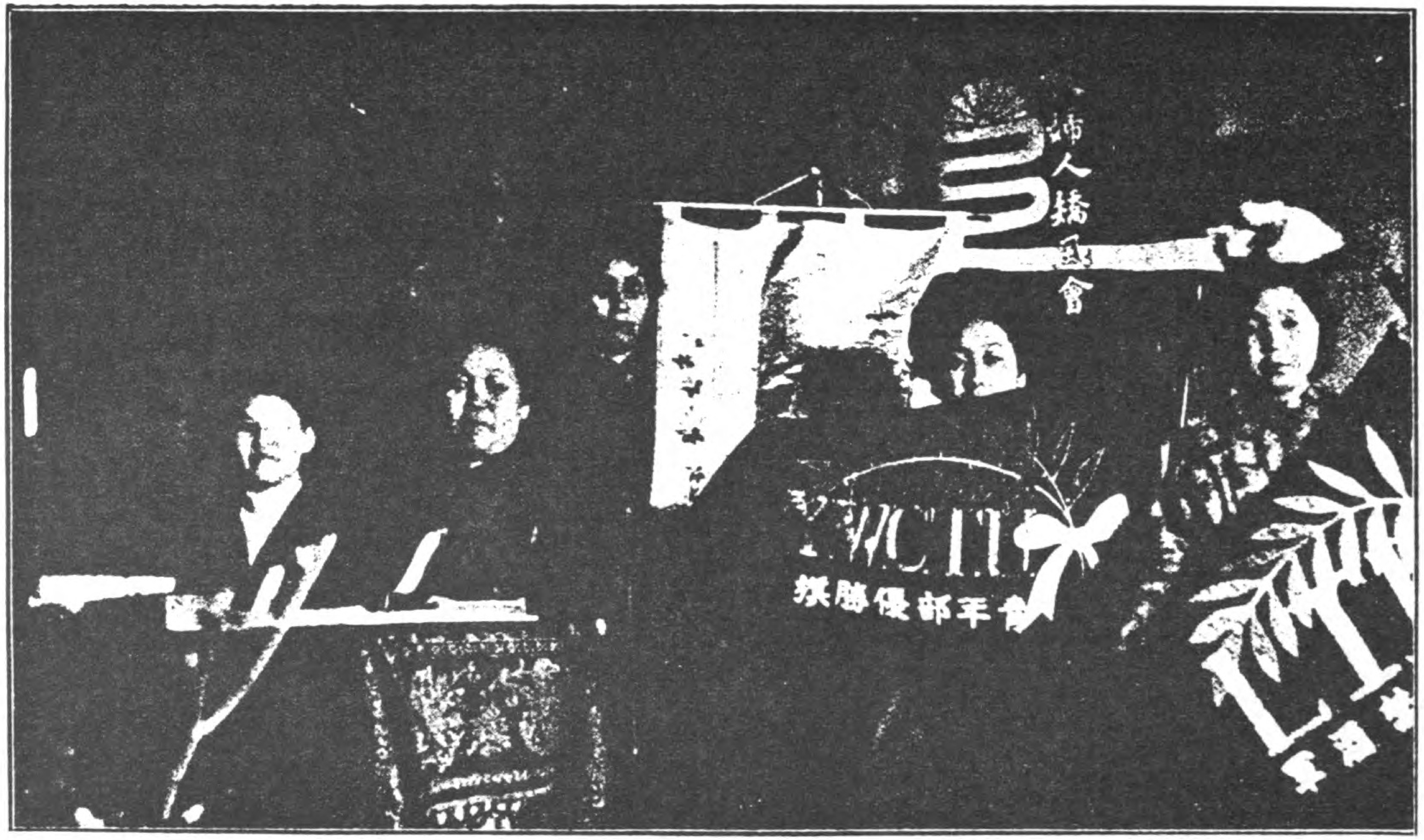
1. About the Prize Banner..................Madam K. Yajima.
2. The Roots Must be First Nourished...Miss. O. Kubushiro.
3. The Life's Progress ....Colonel Yamamuro.
4. The True Value of Personality............Madam Hirooka.
5. An Angelic Visit..............................Miss H. Annaka.
6. Poem ....Mrs. H. Tokutomi.
7. The Late Miss Norton, the Poet.
   (Miss Willard's Cousin)...........................Sokwa.
8. The Minutes of the Convention ....Miss H. Annaka.
9. The Department's Meetings.
10. **Reports.** Headguarters. Jiai Kwan, (Rescue Home) Koishikawa, Kure, Haraichi, Kanda, Mito.
11. From the Editor's Room ....A. M.

FUJIN SHIMPO OFFICE.
No. 3, Tameike-machi, Akasaka, Tokyo.

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



第二十回キリスト教婦人矯風會大會出席代人横濱山手町聖經女學校庭園



大會々場の圖

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

名譽の賞旗

（授賞されし神戸支部）

會頭　矢島楫子

△賞旗を得し由來

今年の大會で、神戸支部が賞旗を受けましたが、其由來を一言皆様の御耳に入れて置き度いと思ひます、昨年の御大典に際し、この支部の方々も是非何か致し度いと云ふ考へで、あの小旗をお賣りになつた金子が五百圓程御座いました。扨て何をしたものだらう、いつそ京都支部へ送つて、あちらの働きを助けてはどうかなど云ふ議も持上りましたが、折しも其頃入港碇泊中の第一艦隊の海軍々人諸士を招待して、慰勞しては如何と云ふ事が、人々の心に起り、終ひにその事に議が一決致しました。

△歡待軍人壹萬人

扨て其話が纏りますと、愈々隊の方へ出向いて其旨を申込み、日取りをきめて準備にかゝられました、其事が世間に知れて參りますと、先づ基督教青年會が一致協力熱心に力を添へられました、次いで饗應の方に

は菓子やからは菓子辨當やからは辨當と云ふ風の寄附が續々と申込まれ、講談、雅樂、琵琶、和洋音樂在留西洋人小供のダンス等、あらゆる娯樂の寄附が集まりました、愈々當日となるや早朝より續々來會さしもの青年會館も裏、表、中央一ぱいに海軍々人で充ちました、演奏者等は終日其三ヶ處を廻りて演ずると云ふ次第で實に目醒ましい見物でした。

△舊新約を各人へ

主客ともに非常な滿足を喜びで、初日に三千、二日目に三千、三日目も亦三千、皆々歡を盡しましたが、この度は艦長の方より、今少し殘る人數もあればこれらも招待して貰へまいかとの事で、それではと四日目に渡り又々二千を招かれました、其勢いが餘り盛なので英米の兩聖書會社から、聖書の寄附を申出でられました。新舊約全書を一卷づゝ、一人殘らず招待せし人々に渡す時、私に御挨拶を致すやうにとの御依頼が有ましたので、私は立つて斯う申ました「今日皆様の御手に差し上げました聖書は、この度御大典に際して全國の基督信徒から、天皇、皇后兩陛下へ献上致しましたものと、一字一句違はぬ同じもので御座います、どうぞ御大典を紀念して、よく御讀み下さい。」

△禁酒主義で招待

矯風會が青年會と力を協せて神戸全市の有志者を勵かし、この多くの軍人諸士を全く、禁酒主義で招待し斯程の滿足を與へられました事は、誠に注目すべき出來事で御座います、尚それに加へて一人々々に御大典の紀念として聖書を贈り得ましたことは、更らに喜ばしい事で御座います、こういふ譯で、働きの點から申ますと他に未だ隨分御骨折の處も御座いましたが、名譽の旗は神戸支部に歸した譯で御座います。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

先づ、根本に培へ

幹事　久布白落實

△活動の機は來れり矣

横濱に於ける大會は、始終恩寵の内に包まれたり、綠の芝生、青き柳、紅の椿、皆遠來の客を慰むる如く三日間の大會は日一日熱と情とを加へ、議は進み、談は精に入り、一年の戰鬪準備成るを覺えぬ、過去三十年を回顧して、有らゆる曲折變遷の間に斯くまでの發展を見ることは感謝無き能はず。

△本年の計畫

一、大會に於て決定せられし事項中重大なるもの四つ
イ、規則改正のこと、
ロ、課を部となして、小課を其部中に含ませ、理解して之を運用すること、
ハ、風俗部の事業として、昨年度より繼續せる、公娼廢止の運動を爲すこと、

二、少年新報を再刊すること。

□規則は十數年前、編成せられしもの、今日に應用困難なる點少からず、幸ひ當時委員として飜譯の勞を取られしガンドレット恒子姉の青年部長として就職上京せられしあり、同姉の外四名を擧げて、之れが編纂を依頼す、規則は繩にあらず、道路なり、我等は之れに縛せらるゝことなく、時宜に適したる善き規則を踏みて、前進せんことを希ふてやます、

□課は我が會の手足の如し、矯風會は幹として立ち各部は之れが働きを爲す、往時ウイラード女史の會を率ふるや、常に曰く「何事でも爲せ」と、矯風會の課は、この方針によりて、漸次増加し來りしもの、花の課あり、母の課あり、教育あり、傳道あり、救濟あり研究あり、各地方に特殊の働きあらば、取つて以つて之れを課に加へられんことを望む、斯くして課活き、人又從つて活くべし。

□大正十年までに法律により、公娼の全廢を期するこの一事は、

大會の中心生命となりぬ。　公娼は少なりと雖も其及ぼす處は至大なり、全國六萬とす稱る娼妓も一日一人を[illegible]

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

へて月に尙ほ百八十萬の放蕩者を遣る、彼等悪疾を其身に受け其精神を腐らし、其家に歸る、其及ぼす惡決して少ならず、男女貞潔觀念の麻痺するは、云ふも更なり、其國家に及ぼす害毒如何に深甚なる、我等は向ふ五ヶ年を期し、之れが爲めに大々的教育運動を起さんことを望む、一ヶ年間一人に付き五錢の運動資金納付の實行を議決し、之れが豫約三日間に一萬二千に及びぬ。

□少年新報は、我等の後繼者たる、少年少女の好侶伴たりき。本年創めに廢刊せられ之れを惜む人多し、京都の如き、進んで之れを受けんと迄主張せられしあり、終に再刊可決、守屋姉外四名を撰んで之れに當らんとを依頼す、時に川崎姉立ちて、特に少年新報に金二十圓の寄附を申込まる、

△新事業は我等を待てり

此の外尙ほ我等の心を奮起せしむるに足る新事業二つあり、一つは新事務所の設備完成と、他は五千人目標なり、我等は今年の終りに先ち、土地、家屋共に我等の所有たる、日本婦人矯風會の本營を得んと爲し居るは何たる幸福ぞ、卅年來、先輩諸氏の苦心の功空しからずして、今日之れを得るに到りしは、實に歡喜の極と云ふべし、之れが器具、調度、設備に要する一千圓は之れを感謝の寄附に待つは至當ならずや

結婚の喜び、卒業の喜び、出產の喜び、誕生の喜び、其他有らゆる企圖の喜びより出づる金を以て、會計小崎夫人の手に必要なる一千圓の與へられんことを祈つて止まず。

□會員五千人、義務金壹百圓、明年の大會は愈 我が矯風會滿卅ヶ年に相當す、我儕は同志の倍增したを望むは不當なるまじ、明治十九年よりの五年度表を見れば、第三期頃激增して二千數百人の數に登り、其時十數年を經て今日は到りなほ二千五百の義務金を出すは、必らずしも會の面目と云ふ可らず、本年度に於ては、この五錢運動を機とし、大に會の發展を計るの可なるを思ふ。

△知らざれば力なし

矯風會の生命は知識によりて養はる、世の缺陷を知り、家庭の敵を知り、子女の出づべき境遇を知り、而して之れに應ずる方法を探究し、日夜孜々とし怠たらざる處に其力の養はるゝを見る、知識は我等の食物なり、公娼廢止運動の如き、實に根本的大教育なり、之れが根底には、男女問題の如き、性慾問題の如き、貞操問題の如き社會政策の如き、幾多の大問題の潛存し居るを見る、之れ等を各自の方面に從ひ、日々研究を積むことは、我等の武器を磨く所以なり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

△祈らざれば力なし

我等の戰ひは神業なり、權力、金力、暴力は彼れの我に勝るものあらんも知る可らず、然れど我等には眞理の栖あり、我等の背後に神意の在るあり、苟くも、眞面目に、心を一にして祈り求めば、必ずや天よりの力加はり來るべし、北海道より九州まで、支部の有らん限り、同志の起る限、心を一にして求むる處あらば皇天上帝、聞し召し給はぬ事か有らん。求めよ然らば與へらる、我等は祈りに答へ給ふ神を持つ、祈りに答へられし多くの實驗を有す、この鍵を以て無限の寶庫を開き得ることを信ず。

△先づ根本に培はざる可らず

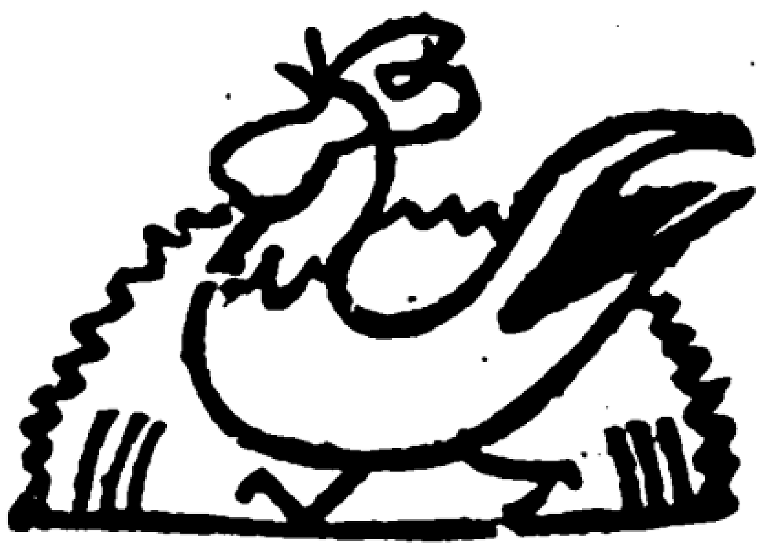
藝術の力は無限に達するに有りとか、一つの繪畫も眺むる人に不朽の世界を示すによりて云ふ可らざる精氣を添ふ、矯風の如き社會的事業も、神國を世に來らする高遠なる理想に根ざして、甫めて、日に新に日々日々に新たなるを得べし、我等の事業もこゝに最大の力を灌がざる可らず、四時云はず萬物生ず、櫻花爛漫たる電車途を馳せつゝ、然して語る天地の富を感嘆せざるを得ず、靜かに流れて盡きせぬ河あり、數千年來キリスト始め、幾多の聖者の生命を以て書かれし聖經を繙きて其内に我等の根を飽き足らしむる生命の水を飲むこと能はずや、聖書は我等の生命の水なり。

△活かして讀み得ぬか

馬太傳より順に讀みて、つまらぬと捨つる人は珍しからず、一つの新しき方法を以て之を活かし得ずや之れを一つの人物傳として見るは又一法ならずや、キリストを始め、ポーロの如きペテロの如き、イザヤの如き、エリヤ、エレミヤの如き人々を我が師表として學ぶは如何に？、餓えたるものゝ食を求むる如く、味ひ食はゞ我が靈の糧となること少々ならざるべし。汝食ひて力を得よ、そは途長ければなりと、昔エリヤに仰せ給ひし主は、今日我等にも同じ語を與へ給はざるか改革の行程は長し、我等は靜かに靈の糧を食ひ、かつ飲み祈りつゝ歌ひつゝ我等の前に置かれたる馳場を進まん哉。

赤阪溜池事務所二階にて
吹き亂るゝ櫻花を眺めつゝ
四月十七日稿

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



人生の行旅

救世軍大佐　山室軍平

△人生は一道中

「門松は冥土の旅の一里塚」實に人生は之を譬ふれば恰も一の道中である。道を行く者は必ず何かの目的に向て進む。さらば人間一生の旅はそも何の爲であらうか。或人は飲食の爲或人は肉の快樂の爲或人は只財寶の爲然らざる者は浮草の如く自から其行く可きを知らずといふ風に實に種々様々である。極端な例は彼の東海道膝栗毛に現れし二人の如き旅の恥は搔捨てと世の中を三分五厘に渡つて行く者も決して少くない。現に其著者十偏舍一九は斯の如き男であつたのである。一方にはジョン、バンヤンの如き人もある。彼が十二年の牢獄生活に一貫したる信仰と主義をもて心血を注いだ著書は即ち天路歴程である、人間の一生を嚴肅に眞實に描き出したものである。

△使命を負へる旅

た天路歴程であつた。或人の人生觀は常に其人の實生下谷の或町にお春といふ氣早な女中があつた。「或日主人が歯痛に苦しんで藥を求めさせやうと彼女を呼んで「お前お苦勞だが上野の廣小路迄行つて」と言ひも終えぬに「はい畏まりました」と飛出したがやがて息せいて歸つて來て曰く「廣小路迄參りましたが何の御用だか伺ふ事を忘れまして」と。笑ふ勿れ私共の中にはもつと念入りに生落つるより土に歸る迄何の故を知らずして空しき歩みを續くる者がないであらうか。お春は出直し得たであらう。が人生の旅は立歸る事を許されない。五十年七十年の一期眞に生甲斐あらんと欲する者は何を爲す可きであらうか。耶蘇は十二にして「我は我父の事を務むべき」云々と申された。パウロは救

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はるゝや直ちに「主よ我に何を爲さしめんとし給ふや」と使命の指示を請うた。人は必ず使命と共に生るゝものである。故に私共は先自分に與へられし使命を覺るのでなくてはならぬ。「馬蹄の一本の釘が拔けて蹄鐵が離れた。爲に馬傷き傳令遅れ大隊は意外の敗北を招き其結果は引て全軍の敗滅を來した」といふ話がある。もとを質せば釘一本而も一本の釘はよく全軍の運命を支配したではないか。いと小さきものにも與へられし務がある。務を與へしものゝ前に之を果すにあらずんばいかでよく意味ある生活をなし得たといはれやう、人の一生は使命を負へる旅でなくてはならぬ。

△人生は修養旅行

「若西郷南洲を洋行さして置いたならば西南の役は起らずして濟んだであらう」と或人が言つた。面白い言と思ふ。大勢を知る者は大勢に逆らふ事をせぬ。「貧乏人の味噌と人間はなくなる頃には旨くなる」詩は唐詩歌は古今に住まば江戸樂したよりは苦勞した人」といふ。一歩踏出せば一歩だけ一日永らふれば一日だけ世間は廣くなり波風に揉まれて光は增して來る。されば諺にいふ。「可愛い子には旅させよ」と。然り實に天父の愛は私共をして神に似し姿とならん爲に憂世の旅に出でしむるのである。パウロ曰く「患難にも欣喜をなせり蓋患難は忍耐を生じ忍耐は練達を生じ練達は希望を生じ希望は恙を來らせざるを知る」と神が私共を旅せしめたまふ目的は斯くの如くして眞に鍛錬せられたる人格を得せしめんとに他ならぬのである。

△慈善旅行たらしめよ

私共の旅は又慈善旅行でなくてはならぬ。慈善旅行とは何か、普く經めぐりてより多くの善を爲す事である。花に浮れて一日の遊樂にふと立寄つた茶亭にさへなにがしの茶代を置くならばまして此世に永らへて私共は何物を殘す可きであらうか。矯風會は此意味によつて立つのである。己獨を善とするのみならず少しでも世を益し人を救はんとするのである心して見よ至る所收穫は多く工人の少なさを。

一人の救はれたる鐵道員があつた。彼はあらゆる時

と所を善き働に用ひんと努めた。而して一年半に得た實り、百餘の禁酒會員と二十の信者とであつた。私が曾て大連へ航行の途次船內の三等客に向つて與へた注意はやがて十六の少女が惡魔の手より逃るゝの賴りとなつた。一昨年の春故石井十次君の葬儀に列ならんとて行く時石井君が清水といふ年長の院兒に臨終の際迄向後の事を托したときいて彼の石井君がさまでに信賴する人物ならばと密かに彼に見えん事を希ふてゐたが事終りし後相見て彼の物語に舊知であつた事を知つた、私が未だ貧書生で京都に居た頃、一日遠足の歸りでゞもあつたらう、橋の袂に迷ふてゐた十三と十一位の兄弟を通り懸りに見過し兼ねて誰かの力を借りて岡山の石井君の許に送り屆けた事があつたその兄が今見る院內の重要人物清水氏であつたのである。神の攝理の奇しきに感泣するのみであつた。よく機を捉ふる者はよく事をなす。總ての時と總ての所とを愛を行ふ爲に用ひるのでなくてはならぬ。喜ぶ者と共に喜べば其喜悅は倍し悲しむ者と共に悲しめば其悲愁は半ばす」

△最善き旅たらしめんには

さて我旅を最善なものとするには何うしたら可いのであらうか。私共は重荷を負ふて歩む苦しさを知る。人生の旅路に罪の重荷を負ふ者は遂に歩行に得堪えぬであらう。靜かに省みなくてはならぬ。私共の中に罪を負へる者は無きか。汚を着たる者は無きか。若し我其人なりと知らば君よ今一切の汚を捨てよ罪を脫ぎ捨てよ。淸き生涯に入らんとする者は塵程の汚も許されぬのである。罪の重荷を取去つて樂しき救に入らしむる者は誰ぞ。「凡て勞れたる者また重を負へる者は我に來れ我汝等を息ません」と告げたまひし耶蘇其君である。

かくして新らしき生涯に入つた者と雖も雲深き浮世に迷も恐もあるであらう。我等には燈火が與へられてある。迷へる時に聖書を繙け。こは最完全なる道中案內である。疲れたる時に主を呼べ此世より彼世にかけて最信賴すべき伴侶は基督である。更に憂悩の荒波寄する時我等の行くべき避所は只一つ、神のみ膝の許である。斯の如くにして我等は眞に意義ある旅を續けて神の望み給ふ光の子となることができる、踏み出す一歩の岐路は遂に千里の隔て之やがて永生と滅亡との別るゝ所である。（大會演說にて文責記者に在り）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人生の眞價

廣岡浅子

□何が人生の眞價なるか

凡そ人が世を渡る上に、多少心ある人ならば、何が人生の眞價であらうかと考へずには居られますまい。或人は國家を其の掌中に握つて之れを料理する國務大臣になる程、眞に價値あるものはないと考へ、或人は多くの人民の思想を導く爲めに、大文豪になる事が、最も價値ある事とし、或人は身を鴻毛よりも輕くして、一旦緩急あるに際しては君國の爲めに犠牲になる事を、人生の眞價なりと考へて居る。また或人は政治家、文豪、軍人になつたとて、今後の世界に雄飛する富國の實を擧げる事は出來ない。それには科學を應用して、富源を開き、或は外國との貿易を盛んにして、貨殖の道を講ずるを最も重要な事となす者があれば、或者は人間に餘裕なく、情感の洗練されぬ程、憐れなものはない、それには天地自然の美を探ねて、之れを發揮する美術家を以て、最も尊き使命と感ずる者あれば、また或者はこれ等部分的の發達をなしても國家が改善さるゝものではない、宜しく人間を教育し、これを向上せしむるこそ、眞に人生を捧ぐるに足る價値あるものであると考へます。

□なほ一つの根源を缺く

これ等は何れも人生に缺くべからざるもので、これに價値を認めるは眞理であります。然し此處に皆樣と考へたいのは、これ計りで人生の眞價終れりとなす事が出來ませうか。否これ等はなほ枝葉の事であつて、其の根源に一つの大切なるものが潜んで居るのであります。近い例が前の講演者島田三郎先生もお話になつた獨逸であります。獨逸人は智識、文學、科學、兵力、政治に於ても、秩序整然として、列強の中に一と云はず二と下らぬ國でありましたが、彼れ等は實に最も重要な一つを缺きました。即ち宇宙を支配する偉大なる力、神が在し給ふ事に心付かなかつたのであります。之れと云ふのがニーチエの如き哲學者出でゝ、無神論を稱へ、基督教に反對し、ビスマー

り、カイゼルも亦この流れを掬んで、人力を信じて神の聖旨を輕んじました。從つて弱を制して強者が暴力を揮ひ、徒らに野心を逞ましくして、遂に我が武力智力富力を以て、歐洲を一統せんとする誤つた思想が、遂に今日の大悲慘事を醸らしたのであります。

口我が社會の縮圖は如何

世に神の在さざるを思はざる程誤つた考へはありませぬ。私共は天に任す一つの神即ち父なる神、救主キリストの聖旨を體得してこそ、眞實の價値を現はす事が出來るのであります。私はお恥しい事ながら、老年に至る迄神の御前に膝まづく事を知りませんでした。漸く六十一歳に及んで、幼子の如き心を以て研究し始め、以來數年の今日に及んで、靈性の發揮は、基督敎によらざれば、到底能はざる所であり、且つ靈性が聖まらざれば、外に如何なる力あり富ありとも人間としての眞價を知る事が出來ないと云ふことを明らかに諭り、キリストに從ふこの身の幸を感謝して止まぬのであります。私共は倫理道德は耳にたこのいる程聞かされ、親には孝に、君には忠に、仁義を守れと敎育者や世の指導者が口を開らけば云ふ所でありますが、社會の縮圖とも見る新聞の三面記事は何を以て埋めて居りますか。誠に忌はじい男女間の問題を始め、詐欺、收賄、自殺等、頻々として其の敎理に逆行して居る出來事のみ多きを示して居り、我々が眞に感に打たれるやうな世界的人道的の働きは遺憾ながら見聞する事が出來ないのであります。

口神を對象とせる生活

これと申すが、神を知らず、キリストを學ばぬ者は、凡て人を對象として、人に讃められたい、人が見て居らぬから賄賂を取つてもよい、人目がなければ妻ならぬ妻を重れてもよいと云ふ事になるのであります。お互に人といふものは誠に弱いものであります。感情の動物で、稍もすれば間違ひ易きものであります。主エスキリストは「女を見て色情を起す者は内心既に姦淫したるものなり」とて、姦淫の罪を徹底的に戒められました。また「人全世界を得とも其靈を失はゞ何を以てか之れに變へん」と靈の尊きを敎へられました。私共がこの聖き主エスの前に膝づき、謙遜になり、我れを聖め給へと祈る時、人々の心は潔められ、たとへ男女が同座して、如何なる場合にも誤り無きを得、金錢を山程積んでも、びた一枚、端書一枚でも我がものならぬものに手をつくる事が出來なくなるのであります。基督

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の教へは實に比類なき大なる宗教であります。歐米に於てはこの宗教が國家の基礎を堅め固めて居るので、たとへ罪惡は全然消滅せずとも、國家の良心は鋭敏にして、其の徳義の標準は一段高き事は疑ひを挿ぬ所であります。かく申せば私が無學の故に基督教がぶれをして居ると申さるゝかも知れませぬが、昔から信徒ペテロを始めとして、パウロといふ豪傑にして哲學者、政治家、神學者として空前絶後の人間も、エスを知るに及んで凡てを投げ出し「嗚呼われ困苦人なる哉この死の體より我を救はん者は誰ぞや」と罪に煩悶し、而して同時に「是われらの主イエスキリストなるが故に神に感謝す」と申して居ります。其の他オーガスチン、ルーテル、アシジのフランシスにしても、澤山の聖者、學者が殉教者となつて、エスに感謝を捧げて居ります。

□神の御前に尊き器たれ

私共が主エスを通じて神と交はる時、其の祈りは決して壁訴訟ではなく、くすしき聖靈の神氣の通ふを覺えます。これは古來幾多の人々が祈りを基督の眞髓として、これによつて其の靈性を發揮し、これによつて偉大なる人力を現はした所以であります。例へばこの肉體は空氣と食物によつて生きて居ります。私共は肉體と共に靈魂のある所を否定する事は出來ませんが、この靈魂を養ふには、神氣によるのであります。これが肉體に宿る時、私共の靈は發展して止まぬのであります。其の靈の發展の源を爲す基督教は、眞に生命の宗教であります。基督が「我は道なり、眞理なり、生命なり」と申されましたが、聖靈の力程、偉大なるものはありませぬ。之れは千九百餘年の昔の事にあらずして、今日只今、この無學なる老婢の上にも現はれ給ふのであります。近年未熟なる信仰をも省みず、西に東に傳道するに當り、聖靈の導きなくしては、實に一場の物語さへ、爲し能はぬので、これに反して屢々我れ乍ら不可思議の感動を人々に與へ得る時は、實に祈りによつて聖靈の我が身に降つた時であります。人生僅か五十年といふこの短かい生涯を、永遠の眞に價値あるものになさんとならば、須らく生きた宗教を信じて、一人一人が神の御前に、尊き器として用ひられんやうに希ふ所がなくてはならぬと存じます。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

天使の御見舞（上）

安中花子譯

時は木曜日、聖子受難金曜の前日、場所は加奈太、トロント市の中央停車場。復活週の休暇を見込んで賣り出した遊覽切符は、大當りで今日も終日驛内は乘る人、降りる人の群衆で然しもに廣い場内も織る樣な往來であつた。田舍から上つて來た人も多い。然し田舍へ歸つて行く人はなほ更多い。さうした人々の大部分は屈強な身體をした若い男女で、一週間の休を幸、再び廣々とした、野外の空氣を樂しんで來やうとして居る連中である。

氣は輕く財布は重く、皆意氣揚々と切符賣捌所へと急いでゆく。

今年は復活祭が早く廻つて來た。それで、美々しく飾り付けられた町の飾窓、土產を小脇にかゝへて停車場へ急ぐ連中を見ると、陽氣が未だ寒いので、何となく、クリスマスのやうな氣がする。

「今夜あたり、きつと又霜が降りますぜ」。停車場詰の巡查の高田は婦人待合室の監督の白井といふ若い未亡人にかう話し掛けた。

高田は自身に就いても、又世の中といふものに就いても不滿な感じを懷いた事の無い至極元氣な青年であつた。白井といふ婦人は未だどことなく、娘氣の失せぬやうな初々しい物腰なので、質素な、服に白のエプロン、白のカラーといふいでたちが、無慘に見える、非常に上品な顏を持つて居る。笑つたら、どんなに美しいだらうかと思はせるが、此の人の笑顏ばかりは朋輩の中に誰一人として未だ見た事は無かつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

白井もと子が此の停車場へ勤務するやうになつてから最早一年半にもなるが、最初の一日も、今も、朋輩との親密の度合には何の變りも無い。もと子が白井三郎の未亡人だといふ事は誰でも知つて居た。三郎は廣い停車場でも有名な機關士で、誰一人此の人を惡く言つた者とては無かつた、職務の爲めとはいへ、二人の幼い娘と、生れてから漸く一ケ月になつたばかりの赤兒をかゝへた若い妻を殘しての其の人の死は實にいたましい出來事であつた。鐵道院では直ぐ樣、其の未亡人に今の位置を與へた、それで、もと子は三人の子供を連れて、田舍の家からこの大きな都へ出て來たのだ。此處には夫の友人も多く住んで居た。彼等は皆若い寡婦に衷心からの同情を持つて、彼女を迎へた、然しもと子の心はあらゆる人に對して閉ざされて居た。惱ましい思をいだいて、幾晩を寂しく泣き明した事であらう、自らの悲しみにのみ囚はれたもと子の心には遂には愛らしい子供達の笑顏でさへも大した喜は與なへくなつてしまつた。

然しもと子は自分をキリスト信者と呼んで居つた。が總べての慰の光に逆らひ、自分の心を暗い墓のやうに閉ざして仕舞つたのでトロントの市へ移つて以來一度も敎會の門をくゞつた事は無かつた。悲嘆と失望の餘りに神をも忘れ果てゝ居つた。

　此の木曜日の夕、汚いさわがしいイタリヤ人の町の中にあつたさゝやかな自分の家を指してもと子は道を急いで居た。留守に三人の頑是ない幼子を殘して行く若い母親は近所の人々を此上もなく氣味惡るく思うた。然しなまじ自國人の間に住んで何やかやとうるさい附合にかまけるより、殆言葉も通じぬ外國人の中に獨り住んだ方が留守中子供に話し掛けられる心配も少いので態とこんな場末の町を選んだのだ。

　小さい乍らも母親の代りになつて一日妹達の面倒を見て居る十歳の雪子、朝から晩まで狹い家の中を飛び廻つて居る淸子、ポチャ〳〵と氣持よく肥つた澄子、皆母親の歸りを首を長くして待ち兼ねて居た。父親の好みで子供達は皆「純」といふ事を意味した名が付け

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

られてあつた。
受難金曜の午後、小さい家の中からは何の物音も聞えなかつた。澄子は晝寢、母親は其の側に惱ましげに横たはつて居つた。もと子は全く病氣であつたのだが、自分ではしきりにそれを打消して、唯少し過度に仕事をした勞れに違ひないと思ひ朝になれば大丈夫だとしきりに我と我が心を引立てゝ居つた。
次の部屋では雪子が清子に聖書帖を前にして最初の復活日、即ちキリスト御復活の朝の物語を聞かせて居る。雪子の解釋はそれこそ雪子獨得のもので折々驚くやうな事を言ひ出す。
「私はお墓は大嫌ひ、」愛らしい口を尖らして清子が言つた。
「どうしてこんな重たい石を置くの。中の人が出て來られないぢやありませんか。」
「神樣が出して下さる迄は出ちやいけないからなのよ。」
と雪子が答へた。
「死んだ人は皆、神樣が天の使をよこしてかういふ石を取つて下さる迄はお墓の中にはいつて居るものなの。天の使が來て石を退けて呉れると皆ゾロ／＼出て來てそれから天に行つて生き返るのよ。ほんとうに死んで埋まつて居る中はそれは／＼悲しいの、そして其の人達の親類もやつぱりいつでも泣いて居て黑い着物ばかり着て大きい聲なんか出して笑はないのよ。」
「それぢや早く天の使が來て父樣を出して下さるといゝのね。」と清子が言つた。
「叱！母樣に聞える所では父樣の事言つちやいけないのよ。あのお墓の中に父樣がはいつていらつしやる事をお考へになると母樣はかなしく／＼たまらないのですつて。」
「だつて今寢ておらしつてよ、だから大丈夫。」
父樣がお墓から出て仕舞へば桃色のリボンを掛けてもいゝのでせう？私はこの黑いのが嫌ひで／＼仕樣がないの。夏になつたら日曜日には白い着物も着られるでせうね。そしたら、もう黑い着物なんか着ないの。私はほんたうに／＼この着物大嫌ひ。」
「叱！母樣が目をお醒ましになる事よ。」
「雪子も清子もこつちへ御出で。」ともと子は靜かに床の中から呼んだ。
外には夕暗が迫つて居る、薄暗い部屋の中で二人の

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

娘の頭を撫でながら、若い母親は話し出した。
「ねえ、明日は母樣がお金を取つて來る日でせう、お前達覺えて居ますか？それでね、夕方、皆で町へ行てつ見ようと思ふの、明後日は復活祭だから新しいリボンをお前達に買つて上げようと思ふけれど、どう？滿子には白いのを買つて上げようかね。」
滿子は最前桃色のリボンの事を話して居たのも忘れて兩手を打つて喜んだ、何時も靜な雪子さへも母親の寢臺から飛び下りて滿子の手を取つてはね廻つた。それを眺めて居たもと子の心は急に言ひ知れぬ悔恨の情に責められて來た。自分は殘る生涯を獨りで過さねばならぬと感じたからといつて子供達の生涯をまで陰氣なものにする必要が何處にあつたゞらう。雪子は死人は皆墓の中に閉ぢ込められて居るものだなどいふ考をどこから得たのかしらとも思つた、眞の事を說明してやらねばとも思つたが、とてもこの頑是ない心に納得が行くやうに話せるものでは無いとあきらめた。自分の愛する人が幸多い天の住家に呼び返されたが故に、女は殘つた地上の年月の有らむ限り、寂しく終へなければならぬなどゝいふ事が、どうして幼い頭に合點行くであらうか、ともひなやんだ。

八十八島

德富久子

□

道しらばあとおひ行かん藤波の
名ごりもおしき春のゆくゑを。

□

老いぬれば胸のしがらみ朽ちぬらむ
絶へずながるゝわがなみだかな。

□

つゝみなく八十八島にぞつきにける
天のみなとに入る日祈らん。

□

我口に門守おきて世の中に
益なきことばとゞめてしかな。

□

行末は同じ御國の友ちどり
聲をあはせて神をたゝへん。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

逝ける女詩人ノルトン女史

（ウヰラード女史の從妹）

蘇花

□

血を見て笑ひ肉を砕きて唱ふ死の神も、醇美なる靈想の治する處、又力無し、清想の翅に宇宙の美を追ひ、理想と眞理の郷土に憧れ、東洋のため日本のため性命のため血と涙を忍び、全我を賭し、纖手に筆劍を揮つて盡したる歌人、モリラ、マリヤ、ノルトン女史、櫻散る日本の自然を愛で樂む事深く、知友は彼女の病軀を慮つて止めたれど、美き風光に渇せる心は遂にやむ可くもあらず、十有餘年の永き間住み馴れしマニラを後に四度來りて春光に泥む。

□

噫されど深奥なる神意と微妙なる攝理は遂に我等の豫知する所にあらず。過る四月廿一日午前八時、帝國ホテルのつゝましやかなる一室に、木暮、高田兩姉の優しき看護の下に眠るが如く逝きぬ。げに宿命の手はつれなくて—

□

女史は矯風會の創立者故ウヰラード女史の從妹とか。哀れ女史生前の努力と床しき人格は、白百合置し純白の衣にも偲ばれ、大鏡の前に並べられたる父母と、女史の若き昔を覺ゆる三葉の寫眞は我に想ひを亂させぬ。噫女史の熾烈純美なる靈、今や天宮の欄によりて我等が世界を望むらん。げにや死は尊く美はしきものとは我核心の思ひなりき。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

キリスト教婦人矯風會第二十四回大會記錄

會場書記　安中花

息ます迫らす刻々と進み行く日月は遂にまた再び全國の同志を喜ばしき大會々場へと集はしめぬ。

○第一回（四月四日）

▲午前ノ部

午前九時より九時半まで傳道課長古田さみ司會の下に祈禱會開會聖歌百二十二番の合唱に次ぎ三名の祈あり。二百八十八番合唱、高谷、小崎二姉の祈禱を以て閉會。

祈禱を以て總べてを始む。之我等同志の者の精神たるべきなり。

九時半矢島會頭、小崎會計、藤井通信書記登壇。會頭は小崎千代を推して議長となす事例年の通り、小崎會計議長席に着席。

直ちに各部委員及び大會三日間の副議長を指名す。

執行委員

委員長	小崎千代	會場書記	安中花
集會委員	城月順	音樂委員	塚原しげ
接待委員	二宮わか		
婦人新報購讀者募集委員	石川ゆう		石川ゆき
新入會員募集委員	大橋しげ		渡邊八重
會計檢査委員	城のぶ		鹿野清
・食事委員	井深ちせ		平田もと

第一日副議長林うた、第二日ガントレット恒、第三日、飯田かう。指名終了、林副議長、及び會場書記それぞれ着席、議長は新任久布白幹事を會衆に紹介す。

本部記錄書記井深花、通信書記藤井かう、會計小崎千代の報告を聽く。但し會計小崎千代の報告中は副議長林うた議長席に在りしは勿論の事なり。如何なる場合にも議長席を空しく立たするが如きは有るべからざる事なり。從來大會代員席には番號を附し、代員各自は其の番號を唱へて發言權を求めしものなりしも今年よりは之を廢し各々姓名をなのる事とせし旨議長より說明あり。長崎支部、堺支部、禁酒會長安藤太郎氏より祝電あり。

守屋東起立、記錄書記報告中に「青年、少年兩部の事所所維持費の一部を萬國本部に仰ぐ云々」とありしは可決に至らざりしものなるを以て右削除を請求す。名出姉の動議松宮姉の賛成を以て受入、通信書記の報告は異議なく定規の方法に依りて受入れらる。

會計小崎姉に向つて守屋姉より萬國本部へ拂込みし義務金五十二圓十三錢は會員何人分なりや、又前年度に比し何人の增加を見しやとの質問あり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

右は二千五百人分なり、而も此の二千五百人たるや過去數年間依然さして動かざる定數にして萬國本部よりも屢々注意ありし處、各支部は奮勵して必ず會員總べてが義務金を納付する樣注意あり度き旨答あり。

名出姉「婦人新報補助のため云々」の意を質問す。新報購讀者少きため勢財政補助の要あり、答ありて動議贊成を經て受入。

△議題提出

一、課に就きて
二、本部事務所維持費の件
三、支部長の名稱を明らかにする件
四、規則改正の件
五、「今後六ケ年を期して」云々の條文を「大正十年を期して公娼全廢の法令を獲得する事」と改正する件
六、一年一回必ず九州部會を訪問するの件
七、女官に聖書を獻納する件

第一、「課に就いて」

守屋東　說明

元來矯風會現存の各課は研究の結果として生れ出でしものには非ずして外國のものを其の儘移し來りしものなり故に適任者ありて出で來りしものといふよりもむしろ課ありて後に强いて働き人を入れしやうなる觀あり。且つ我が國の狀態には適應せざるものもあり、又其の活動範圍も頗る不明瞭なるを以て之を改造し、最有功と認むるものゝみにしては如何」と、

第二、「大正十年を期して公娼全廢の法令を獲得する事」

久布白幹事說明

昨年度大會に於て向ふ六ケ年間を期して公娼全廢云々」と決議せしものに、より大なる裏書を與へしものなり。久布白姉の說明よく盡して餘りありき、運動資金募集方又實に當を得しものなり、一同熱誠なる興味をも以て謹聽せり。我等が熱誠の赴むく處必ずや此の一事をも爲し遂げ得べきを信ず。

第三、支部長の名稱を明かにせんとするの件

藤井かう說明

日本婦人矯風會は萬國本部の支部なり。萬國本部に對しては矢島楫は一支部長なり。日本婦人矯風會と各支部の關係又之に準ず。日本婦人矯風會々頭は矢島楫なる以上各支部にては「支部長」の名稱を用ふべきものなり。

第四、一年一回九州部會を本部より訪問の事。

守屋東若松支部を代表して之を說明さる。本部より遠くはなれ居る地にて時々獎勵、刺戟を要するは當然の事なり。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

矢島會頭丹後より來京中の伊井牧師の一行を大會へ招待するの件動議。贊成を經て右書狀は書記に依賴して之を送る事とす。
十時姉、山口姉に書を送つて病を見舞ふ事又同じ。

△御大典運動の報告　守屋東

矢島會頭神戸支部活動の樣を語らる。正午の祈禱を以て閉會。

▲午後ノ部

小崎議長、藤井書記登壇。
讚美歌　百六十一番合唱。祈禱　岡部姉。
出席代員點呼　計六十九名。

□歡迎會　司會　二宮わか

奏樂　ミス・グリフヰン
祈禱　大橋しげ
司會者開會の辭を述べそれより市長代理を始め、市の有力者諸氏よりねんごろなる歡迎の辭あり、林うた會頭に代りて謝辭を述ぶ。
平田牧師の祈禱を以て閉會。

□少年禁酒大會　三時半よりフェリス女學校講堂に開く

手に〳〵少年禁酒軍の小旗をかざして集り來りし少年少女はさながら花の如し。愛らしさ勇ましさ言葉に盡し得べくも非ず。懸賞演說會の催あり。堂々たる小演說者はやがて國家の輿論を支配する人々たるべきか、我らは然あらん事を望みて止まざる者なり。

▲夜ノ部

△懇談會

各支部代員順を追うて意見を吐露せり。西洋人婦風會代員ミス・ルエス、其他二三の外國婦人も參列せられ頗る樂しき會合なりき。

四十分をさきて青年部報告を聽く、

京都、神戸、水戸、東京小石川、三田フレンド女學校、山梨等の各青年部代員より興味深き報告ありき。總べての若き人には熱烈の情あふる。殊に之を青年婦風會に見る、我が國の前途意を強うして可なり。

○第二日（四月五日）

▲午前ノ部

午前五時古田傳道課長司會の下に祈禱會開會、右終りて九時半大會第二日の課程にさ移りぬ。
小崎議長、ガントレット副議長、藤井書記登壇。
前日記錄朗讀　會場書記。
訂正數ケ處。動議贊成を經て受入。
新議題朗讀　藤井書記。
女官に聖書を呈するの件。　ガントレット恒子

△青年部報告

171

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

神戸青年部より本部へ二十圓の寄附ありしを渡邊姉より附加、古田姉の動議宇津姉の贊成を以て受入。

△少年部報告

守屋東

「少年部長」「本年度」に於ては其精力を殆盡べて、支部の運動に集注せられありし觀あり。こは少しく當を失したるものには非ずやとの、久布白幹事の言あり、部長自身も之を切に感じ居るよしを述べられたり。

少年新報廢刊の理由を問ふ　林うた。

答、新報經營の費用は萬國本部より出づ、財政上の困難は兼ねてより存せしもの、杉本鉞姉渡米に當り、終に廢刊に至りしものなり。廢刊、再興或は暫くの間婦人新報中に小年欄を設けては如何等の建案あり、討論數分、委員を擧げて研究を托す。時に川崎姉新報のため二十圓の寄附申出でらる。

左の委員を擧げて大會中に協議を托す。

ガントレット、守谷、ミス・ルエス、中村、富森。

△婦人新報々告

藤井かう

久布白幹事婦風會は即ち熱血の、こりて成りたるもの、活動の背後には數多の姉妹の熱烈なる祈禱潜めるを語らる。林姉の動議名出姉の贊成を以て受入。

婦人新報を興味ある特徴あるものとなさんために婦人改革運動に關する事は細大もらさず之を報導すべしとの久布白幹事の奨勵あり。

△西洋婦人矯風會報告

ミス・ルエス

本年度活動の一として印刷機關利用を擧げらる現時にありては筆は即ち劍なり、一管の筆能く天下人心を支配するを得べけんか。

△慈愛館報告

ミス・ペンロッド

輪落のふちに沈みて浮む瀨もなかりし同胞姉妹に、人生の光明を與ふる事業は矯風會之に當らずして誰か能く之を果たさん、我等起たざるべからず。

林うた全會を代表してミス・ペンロッドに感謝の意を述ぶ。一同起立して之に連る

△各課報告

花の課　城戸順
傳道課　吉田さみ
教育課　渡邊つれ

守屋姉の動議、立見姉の贊成を經て可決、時間切迫を以て殘りの課は午後にゆづる。

廢娼運動寄附金募集の主意書印刷の事を久布白幹事より動議あり林姉の贊成一同擧手可決。

幹事より緊急動議あり曰く守屋少年部長に一月の休暇を與へんと

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る滿場喜んで之を可決す。
集金委員の報告あり、呉十時姉より祝電を得。

▲午後の部

讃美、祈禱を以て開會、祝電朗讀、ミセスマツケンジー共立女子神學校教師紹介。

△各課報告

一安息日課　山本たい
一法律課　松宮しん
一風俗課　名出
一軍人課　清水フキ
一文書課　安中花
一母の課　栗屋榮
一禁酒禁煙課　根本代飯田

以上七課報告。松宮姉の動議鈴木姉の賛成を經て受入。
之にて各課報告終了。議事に移る。
久布白幹事より廢娼運動の方法五つ、演説、文書、小册子發行、請願等のため部長を設けん事を求めらる。
ガントレット夫人、此の事は語るに易くして行ふに難し、久布白幹事を委員長とし、委員を擧げて之に部長撰擧を附托すべしとの動議を起す。林姉の賛成あり。右委員人選は久布白姉及守屋姉に托す。

△役員撰擧

ガントレット夫人司會の下に撰擧會開始、撰擧委員松宮しん、田山せい、出席代員六十一名（若松支部は守屋姉代表）司會者より撰擧法の説明あり。
副會頭本多貞より辭表呈出あり。病の爲めなるを以て之を受入に可決。
通信書記改撰の不要なる事、及び久布白幹事記錄書記の任に當るの適當なる事に衆議一致せしを以て右の撰擧を省く事に決す。
小崎姉より矢島會頭は矯風會よりはなすべからざる者なるを以て留任を願はんとの動議あり、滿場一致を以て可決。書記は全會を代表して同姉に投票せり。
副會頭撰擧は井深花五十四票、小崎千代三票なるを以て復撰のわづらはしさを省き、井深花を副會頭となすの動議あり。賛成可決。
會計小崎千代に留任を請ひてゆるさる。

△本年度新任役員左の如し

會頭　矢島楫
副會頭　井深花
記錄書記　久布白落實

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

通信書記　藤井かう

會計　小崎、千代

右新任役員五名登壇、城戸順全會を代表して挨拶の勞を取り小崎千代之に答ふ。大會より本多前副會頭に見舞狀を送るの件藤井動議可決。

ガントレット夫人の祈禱を以て閉會。

時に廣岡淺子夫人の來場あり、小崎姉之を全會に紹介す、守屋少年部長慰勞のため有志者より贈物あり。

引き續いて委員會ありたり。

○修養會

▲夜の部

午後七時より九時まで修養會を催す。久布白幹事廣岡夫人の奬勵あり、有益なる會合なりき。

此日水戶靑年部より會頭へ、日本全國矯風會所在地を明かにせし地圖の贈呈ありき。

○第三日（四月六日）

▲午前の部

午前九時より九時半まで祈禱會前日に同じ 會員を五千人に增加せよ。之今日の祈禱の目標たり。

九時半開會。前日記錄朗讀　會場書記

數ヶ所の訂正を經て受入。

公娼廢止運動委員會報告　守屋東

△廢娼運動實行委員氏名

委員長、久布白落實。

委員、藤井かう、守屋東、ガンドレット恒、小崎千代、小宮珠、田山せい、川崎まさ、皆川せき（以上東京）、富森幽香（京都）林歌名出笠（大阪）渡邊常、城のぶ（神戶）城戶順（橫濱）鹿野淸（靜岡）高谷さく（弘前）柳原小羲（鹿兒島）（會頭及副會頭之を總理す。）

なほ昨日來會の村井夫人より右運動費として金十圓の寄附ありたり。

議事に移る。

第五規則改正に就いて

ガンドレット恒說明

現存矯風會規則は元ミススマート（今のルート夫人。）の起草せられしものにてガンドレット夫人の譯に成るものなれども其の當時より旣に十數年をへだつる今にありては聊不適當の點あり故に改正建案を見ろに至りたるなり。名出姉の動議栗屋姉の贊成を以て可決。

會頭に右委員指名を請ひ置く。

改正の規則の有効期日は來年四月大會終了後より始まるものとす。

△「課に就いて」 課を廢して部を設け部の下に各方面の働を含ましむ。守屋姉より詳細の報告あり。例へば法律部なるもの丶下に請願課、議事法課等を置くが如し。

教育部の下に設置すべき學務課なるもの丶意義につき討論あり學務の字義よりは稍はなれたる感あれども右の課の目的とする處は學術的禁酒を教ふるに在り。

婦人ホームの働は何の部に入るべき性質のものなりや、討論數分決議は午後にゆづる。課を廢して部を設くるの議には賛成あり可決。擧げられたる部名左の如し。

一教育部、一風俗部、一交際部、一傳道部、一家庭部、一法律部、一文書部。

部長は會頭指名に依る。

賞旗授與式に移る。

一賞旗は神戸支部、京都青年部、東京麻布英和女學校少年禁酒軍、一賞金、神戸青年部、京都支部、呉支部、弘前少年禁酒軍、高濱少年禁酒軍。

會頭より授與せられたり。

規則改正委員として委員長にガントレット姓に田山、守屋、川崎、久布白外に本部役員委員を、會頭指名さる。

再び議事に移る。

小崎會計詳細に財政報告あり、合せて新事務處維持に就き語らる。現事務所維持費は大部分東京の各支部より出で居れども本部事務所は全國支部のものなり全國支部等しく責任あり。

△會計檢查委員報告　城のぶ

一二の訂正あり。「何年」「何年度」の言葉使用上廣々誤を生ずるを以て今後「年度」なる言を使用すべき事守屋姉より注意あり。

婦人新報に多大の同情を注がるゝ小橋三四子姉來場、議長より同姉紹介あり。並びに聖經。共立二女學校のワトリン姉及びアルウード姉をも紹介。

皆川姉、各會員は毎月三錢、年に三十六錢を本部に納付する事。即、從來の如き曰く「義務金」曰く「書記俸給」曰く「維持費」曰く何と數ふるに暇無き面倒を省きては如何との動議あり、名出動議に川崎の賛成を以て可決、實行は此四月よりと決定、守屋姉、事務所に振替口座を設けん事を請求す會計之を承引す、右手數料十圓を大阪支部會員より即時寄附ありたり。

久布白姉新事務所設置費は喜びて與ふるものよりのみ受くべき事な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

語る、午後一時よりの課長會は新任部長發表の後にゆづる、
守屋姉、青年部よりミスゴルドン、ミセス、ステブンス、ミス、スツラウドに葉書及び大會寫眞を、又十時、益富、岩村諸氏に病氣見舞を送る件提出可決。

大會開催のため一方ならぬ盡力ありし横濱支部に弘前支部高谷姉全會を代表して謝辭を述ぶ。

正午の祈禱を以て閉會。

午後の部

讃美歌三百四合唱、引き續き日程に入る

△九州部會報告　　柳原小義

△横濱西洋婦人矯風會報告　ミスグリフヰン代　ガントレット恒

一年に一回九州部會訪問の件、若松支部提出

一支部の名稱を明かにする事、　藤井かう

右二件は既に昨日說明せられたり。

神戸婦人矯風會を神戸支部と變更するものなりやとの渡邊姉の質問あり、藤井姉變更するに非ず當然キリスト教婦人矯風會神戸支部とあるべき筈のものなり。

動議贊成を經て可決。

△部會を作る件

久布白幹事より說明あり、餘りに一つ二つの部會の勢力強くはならずやとの林姉よりの質問あり、守屋姉より右は懸念すべき問題ならず強き二三の支部聯合して強き部會を作りたらんには他の地方の部會も又勢力の扶植に務めば可ならんとの答あり、一同贊成可決。

△女官に聖書を贈呈の件

右は本部傳道部長に委任する事。

廓清會小林氏紹介。

□追悼會

城戸順司會の下に十八名の追悼を行ふ。

奏樂　聖書朗讀、司會者、祈禱に次ぎ青年部の合唱あり。かなたの國に響く希望の樂の音、それは復活を歌へり、人生は死別を以て終るものに非ず、世に滅せざるもの二あり、靈魂と愛の二つなり、之を信ずる我等は去りしを思ひ、逝きしを偲ぶ寂しさの中に一導の強き光明を認むる者なり。

故安藤文子姉禁酒會長安藤太郎氏夫人)につき伊藤姉北島房子姉に就き笹倉牧師數言を述べらる、文子姉といひ、房子姉と言ひ共に内助の功を全うせられし貞夫人なり。

死は萬人が共に往くべき關門なり、而して死は萬人を平等ならしむ、一人の善良なる人の死は萬人の心に銘じて萬人を新き生活に導くものなり。

弘前佐藤つれ子を追悼して高谷姉弔辭を朗讀せらる、中村姉は松田く

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に子に就き渡邊姉は小磯姉の生前につき等しく語られ、渡邊姉の祈禱に次いで北島夫人親戚としての挨拶あり、三百四十二番の合唱從倉牧師の祝禱を以て閉會。

△御大典運動決算報告

杉本鉞代　守屋東

御大典當時矯風會にて設置せし無料接待所の器具類は京都婦人ホームへ寄附に決す。

午前よりの部の問題に就き。

傳道部長に古田、家庭部長に藤井かう、文書部長に安中花教育部長に渡邊つれ、自ら其部長たらんことを申出づ川崎姉家庭部副部長を申出づ。

林姉―救濟部は當然公娼廢止運動に伴ひ設置せらるべきものなれば慈愛館はこの救濟部の下に入るべきものなり、又大阪婦人ホームは京都婦人ホームが確實なる婦人宿泊所の如きものなると稍異り、特殊救濟事業と目すべきものなり、といふ。

時に四時定刻に至りしも事務終了せざるを以てなほ卅分間討議す。

守屋姉林姉に慈愛館と婦人ホームを同一の部の下に入るゝの理由を問ふ。

林姉は飽くまでも之に救濟事業の名を與へよとして動かず。守屋姉は、如何に廉價なる宿泊料を以てするにもせよ一般婦人の宿泊をゆるすと言ひ居る婦人ホームと醜業に從事せし婦人を收容する慈愛館とを共にするは淑女を侮るの甚だしきものならずやと反駁す、

古田姉―慈愛館收容者の全部は醜業に從事せし者には非ずといふ。

守屋姉―元來慈愛館は賤業に從事し若しくは從事せんとするものを救濟し收容するが目的にして然らざるものはむしろ收容せぬ方針に出ずべきはづなり。現に同館内には兩親の命に從はざる良家の婦人を收容せるは他に適當なる機關なき爲なりと説く、

部を課に變へし最初の目的如何反雜をさくるためならずや、婦人の生活を改善し、婦人に職業を與へ、婦人を進歩せしむるための婦人ホームは教育部に屬せしめても可なるものなり、とて餘りに細末の問題にとらへらるゝ事の賢からざる道なるを言ふ。

京都支部富森姉京都婦人ホームの性質を説明す、久布白幹事、婦人ホームの名稱を變へては如何。或は婦人ホームなる一部を作つて如何。

守屋姉は既に定まりたる部の部長を定め順事事務の整理に掛るべしと述ぶ。

渡邊姉かゝる問題は來年度の問題として殘す事を建議。部の内容は部長に任するの動議ガントレツト恒より出づ、渡邊姉は右可決の前に之に軍人部を加へ入部としても之を受入るゝの動議。山川姉―軍人部は、青年部、少年部と共に行くべきものには非ずやと反對す。

渡邊姉、青年、少年は人生の一時期なり、軍人は社會の一階級なり、と駁す。

山川姉再び之に對して問ふ、軍人の爲めの働は文書、傳道慰問

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

述べてを要せずやと。
渡邊姉—軍人のために爲す働を總べて軍人部の働と稱するのみなり。と答ふ。
久布白幹事ガントレット夫人の動議に贊成。
議事法に依れば一つの動議の出でたる後種々なる意見出づる時には元の動議は無功に終るものなるを以て再び久布白姉の贊成を動議となし林姉の贊成を以て可決、風俗部長人選に就き議論區々たり。廢娼運動は風俗部の働なりや如何との質問久布白姉よりあり、守屋姉當然同部の働なりと答ふ。久布白姉を部長、林姉を副部長として舉ぐ。法律部長は矢島會頭副部長松宮しん、之にて議事終了。

△來年度大會は東京にて開催と決定。

且つ來年は矯風會創立三十年に當るを以て會員を五千人に增加するの決議を作りては如何。—藤井。
守屋姉之は決議となさずして標語として如何。
久布白幹事は會員五千人に「義務金百圓」の一行を附加す。
討論の後、標語と。決定す。
清水姉はたとへ軍人部の設立なくとも此の働を記憶せられ度しと請はる。
斯くて第二十四回大會は希望の中に閉了す。

此の記錄朗讀後、動議あり、軍人部を置くの議可決。部長清水姉副部長に栗屋姉あたるべしと申出でられ可決。
讃美歌三九二を合唱し主の祈を以て散會す。

▲夜の部

□公會演說會

午後七時より指路教會に於て公會演說會を開く、小崎千代子司會、同姉の開會の辭につぎて渡邊常祈禱をなす、左の演題の下に熱心なる演說ありき。

一、國家根本の問題　島田三郎君
一、人生の眞價　廣岡淺子女史
一、人生の旅路　山室軍平君

特に救世軍の克己週間なるにより獻金をなす、二十餘圓を得同軍に送る。聽衆堂に滿ち充分なる感動を一般に與へ得たる事を感謝す、指路教會牧師森教師の祝禱を以て閉會せしは十時半なりき。
斯くして三日間に亘る廿四回の大會は大能の御手に導かれて終る事を得たり。

○第廿四回の會場として共立女子神學校を貸與されし事を感謝す。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○特別集會記錄

△公娼廢止實行委員會

守屋東

大會閉會の第二日午後の集會後引きつゞき公娼廢止實行委員の相談會を開く、便宜上守屋司會す。

出席せし氏名、小崎千代、久布白落實、藤井孝、守屋東、ガントレット恒、皆川せき、小宮珠、川崎まさ、田山せい、林歌、城のぶ、名出昱、宮森幽香、鹿野きよ、城戸順、柳原小義、高谷さく、以上十七名。

先づ實行委員の内より各部長を定むる事に決定。

一、委員長　久布白落實
一、會計主任――川崎まさ、皆川せき
一、演說會委員長――林歌
一、新聞雜誌、懸賞文學委員長――久布白落實
一、小冊子委員長――守屋東
一、請願委員長――藤井孝

委員長選定後、第一回公娼廢止運動資金の納附期限を五月三十日と決定

此席に出席なかりしも委員として神戸の渡邊常を加入する事に賛成可決す、集まりたる委員は皆此爲にあく迄戰ふ可く決心せるもの久布白姉の祈禱の如き實に熱涙下り死を以ても猶辭せず此大なる義戰に立たんとの句や等しくアーメンを唱へて後委員長なる同姉に握手して別る。時に六時をすぐる十分なりき

會の中頃一外國婦人靜かに來席して會の模樣を參觀され居りしが遂に此運動の爲に金十圓を寄附する旨を申出らる、此夫人は森村商會の支配人村井氏の夫人なりき。

△青年部特別集會

安中花

四月五日午後七時ガントレット部長司會の下に開く、出席者十三名、神戸、京都、小石川、フレンド女學校、山梨、水戸の代員なり、讃美、祈禱に次ぎ部長より「純潔」といふ事につき有益なる訓話あり、若き我等は非常なる助を與へられき。右終りて各自思ふ所、欲する所を語り合ふ。

一、各青年部の間に連絡をとり度き事
二、年表記の改造
三、動物優待課の研究
四、青年部が矯風會内にて輕視されざらん事

年表記は順次各青年部にて之を擔當して作成する事、先づ來年度年表記は京都青年部にて作成する事。

動物優待課を有効ならしめんためには懸賞演說會に此の問題を說くも可なりとの意見もありたり。

司會者の祈禱を以て閉會、誠によき集會なりき。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

各地通信

本部

四月廿日臨時委員會を開く、大阪飛田遊廓新設の件につき大阪支部長林歌子姉同地の矯風會、廓清會、教役者の代表として上京直ちに臨時會を開き運動方法を講ず、出席者、矢島會頭、久布白落實、守屋東、皆川せき、林歌なりき。

一、廓清會本部と協力する事、
一、廓清會矯風會の臨時委員會を此夜開く事
一、内、文相及首相を訪ふて陳述する事、
一、宣言書を作る事

を決定し廓清會主事伊藤秀吉氏に電話して來會を乞ひ右の四件に同意を得て後直ちに自動車を驅りて島田廓清會長を訪問す、種々打ち合せの後島田氏邸に於て臨時會を此夜八時より開會に決定、電話或は訪問して委員の來會を乞ふ、出席されし氏名、島田三郎氏御夫妻、安部磯雄氏内ヶ崎作三郎氏、山室軍平氏、松宮彌平氏、伊藤大尉、油谷次郎七氏、伊藤秀吉氏、林歌子、渡邊常子、守屋東十二名、決定せる事項左の如し

一、決議文起草の件、
一、諸大臣歴訪の件、
一、廿四日の日本日(ジャツパニスデー)に東京、大阪、神戸の三ヶ處に於て飛田遊廓設置反對の大演説會擧行の件、

大阪(島田、山室兩氏)、神戸(内ヶ崎氏)
東京(安部、油谷兩氏其他)

散會したるは十一時すぎなりき。

慈愛館

四月廿二日午後二時より理事會を開、出席者、矢島楫、渡瀬かめ、守屋東、ミス、ペンロット。ミス、マコーレー。ミス、ホイトマン。ミセス、アレキサンダー。ミス、ルエス。ミス、クローソンなり、理事長矢島楫祈禱の後守屋前回の記録朗讀をなす、ミス、ペンロットより神戸同情館につき其主任者城姉につきて語らる。矢島理事長及其他のものまた城姉につきて紹介をなす、委員を擧げて今後慈愛館の發展方針につき研究する事に決定、閉會せしは四時半なりき。(守屋)

東京小石川支部

四月十五日小石川福音教會にて例會を開く。ペンファインド女史司會の下に田山夫人の會計報告あり。次に岩淵姉は大會に於ける集會の模樣及感想を述べられ、田山夫人は特に課を廢して部となす事の説明をなされ、濱野姉は指路教會の集り、沖田姉は夜の懇談會に付き、何れも熱心に述べられたり。猶田川夫人より、此際會員各自は奮つて先づ其義務を盡したしと語られ、公娼廢止運動に付きては百口を受持つ事に可決す、パンファインド女史は今十九日休養のため歸國、留守中を田山夫人に委れらるゝ旨を告げられ讃美祈禱にて閉會。新入會員二名、(赤記代)

呉支部

三月廿三日、一月始めより風邪のため病床にあられし當支部長十時姉は未だ癒えず、却つて氣管支炎となりて毎日熱と咳嗽に苦められて食慾無く衰弱甚しく 御自宅軍人ホームにて御令妹の看護を受けられつゝあり。二月も例會を持たざりしため大に憂ひ給ひ、今月は年度末の大切なる集會なればとて西村姉に司會を依頼され會員廿名はホームに集りて例會を開く。本部のため又、來月開かるゝ大會のため、十時姉のため一同熱心に祈禱す。猶、當日一年間書記の任に當られし小崎姉の送別會を開く。(丹下)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

原市支部

二月十一日紀元節午後二時より會堂に於て例年の如く婦人會を開く、前橋教會牧師辻忠箕氏「婦人の開拓す可き領土」と題し演説さる。會計中田たま姉前年度の會計報告ありて閉會。來會者五十四餘名。

○四月四日より横濱に開かれたる大會へは當支部より太田捨、中田たまの兩姉出席す。

○四月廿四日は會頭の誕生日に付同夜會堂にて記念會を開き、會頭の上に祝福を祈ると共に大坂遊廓新設事件に付き熱心に祈る。集る者六名

神田支部

三月十六日午後二時より神田末廣町、神田教會會館にて例會を開く。小宮支部長司會挨拶の後荻原前會計歸郷のため辭任の件及び同姉を紹介せられ、書記は北村姉再選せられし事及び當日當支部に教育課設立には付、大藤長老及び飯田本部教育副課長に講話を乞ひし事を報告せられ、夫より大藤長老は忘却の罪と題して有益なる御話あり・飯田姉は教育課の働に付て懇ろに講話せられたり。尚、當日支部教育課長として元田悌子姉を推薦せり。出席者廿七名、(北村)

水戸支部

四月八日水戸市上市向井町片町水戸クリスチャン教會に於て矯風會例會を開く。禮拜後事務に移り、書記、會計、通信書記及び役員會の報告ありき。前教育課長ギフォード氏御病氣のため上京せらるゝに付きボールダストン氏に後任として讓らる。一同賛成を以て受け入れたり。川田夫人の詳細なる大會報告、渡邊、鈴木兩姉の大會感想等あり。會頭の御誕生に際し、祝電を打つ事は賛成を以て書記及通信書記に委任する事に決す。熱心なる大會報告は實に會員一同の心をそゝり立て、我等の手を空くして居る可きにあらざるを感ぜしめたり。午後三時頃閉會。出席者十五名、(鈴木すゞ子)

公娼全廢運動日誌

四月三日四日五日の大會に於て「大正十年迄に法律により公娼全廢を期する事」の決議をなす。

○四月十二日基督教同盟會に出席。全國各派牧師集會の席上にて此運動に付後援せられん事を依頼す。

同十六日、小田原の筑紫つる子千口を引受らる

同十七日、趣意書の印刷成る。

同十八日、五錢集金の袋出來。

同十九日、牛込教會を訪ひ、婦人會に依頼して百口預く。

同廿日、趣意書、袋紙を各支部に發送す。總數約一萬三千口。

同廿一日、申込なき支部へ手紙を出し且つ本年度の運動方針を報知す。

同廿二日、京濱七教會組合教會親睦會に出席各教會の後援を依頼し九百口を各教會に依頼。

同廿四日、山王臺神風亭に於て矢島會頭の第八十三回の誕生を祝し、大會の報告に次いで親睦をなす。同日小石川の田山氏、女子青年會幹事加藤姉及び井深夫人へ百口宛依頼す、津田まり子五圓の寄附を申込まる。同夜中央會堂に於て廓清會と聯合の大演説會を開く。會衆實に八百數十名。

△因に記す。大坂飛田遊廓新設の件に付き大坂支部長林歌子姉上京。本部にて數日に亘り之が爲め運動す。廿日自動車を驅りて奔走し、同夜島田三郎氏邸に於て矯風會及び廓清會の委員會、翌日内務省を訪ひ、次官、代理前田文書課長及び警保局長に面談。廿一日文部省及び首相訪問廿四日を期して東京大阪神戸の三市にて東西相呼應して演説會を開き大に輿論を喚起す。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

編輯室より　エー、エム、

○公娼廢止實行委員が定まつていよ〳〵其運動に着手しやうと意氣込む矢先、大阪飛田に新遊廓設置の許可が出たといふ事は、實に「彼れより戰を挑む」といふ感があつた。豫言の如く林大阪支部長は發表の次日入京、卽刻、會頭幹事と共に作戰計畫は成り、東奔西走。

○神戸支部長の偶然なる會頭訪問は一變して神戸に於ける大阪應援の火勢を擧ぐる事に至る。會頭八十三回の誕生日は意味深き主義の戰端開始の記念日となれり、通信は四十有余の支部に送られ此爲に各地熱禱を捧ぐ。輿論湧が如く戰ひ今や酣なり。

○次ぎから〳〵と事務處の多忙は氣持のよい事、大正十年を期して全國の公娼を全廢せんといふ目標を立て〻すゝむからには時も寶も捧げて、なし難い此一事を祈によりて動かしゆかねばと申あはせたやうに語りあふて居る、窓から見る限り花の世界はすでにすぎて青葉は色鮮に希望に輝く。

○裏口から日々用聞に來る八百屋の青年「どうも此度は大阪は大變な事ですね、全くあんなものはいりませんねー」と應待の山川姉「勿論です」同姉同人に告げて曰く「未來の救世軍人ですよ」出入の誰れ彼此處の主義を知るに至れるかと思はず感謝!! 新來の宮川部枝姉「四五年前の元氣に復活しました」、と!。日々戰線に立つ。

○二等で旅する處を三等でしましたから其差を「口座」の登記料に寄附します」と大阪支部代員のお影で與へられた口座番號は『東京三二四六九番』第一着に此口座を使用して送金せられたのは津田まり子姉亡父君の記念日に公娼廢止運動資金にと指定して寄附されたり。

○月三錢づ〻の義務金は早速此口座を使用して頂きたいと會計からの御傳言、猶婦人新報代でも又其他會への御送金は此口座番號を御使用が一番便宜。公娼廢止運動資金募集の小袋一萬六千枚印刷せしも飛ぶ如く配付濟みとなり。新たに三萬を印刷に着手。

○會頭の元氣回復され廿四日の祝會には御出席を得一同感喜す、世界支部長の最高齡者として猶且信仰厚き會頭を頂く我等の幸、誕辰祝會の席上司會者は「公娼全廢運動に盡力する事を以て御祝の贈物とす」と述べ、「何よりの贈物を有難く頂きます」と老會頭の謝辭。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Nationaly Y.P.B. Sec'y ... ... Mrs. T. Gauntlett.
National L.T.L. Sec'y... ... ... Miss A. Moriya.

Five Thousand Membership and One Hundred yen due. It is just thirty years next year, since our National W.C.T.U. was organized in Japan. We would like to double the membership by that time. It has been a rugged up hill struggle for the union all these years. Through indifference, ridicule and misunderstanding Madam Yajima and many others led the way. To-day W.C.T.U. though few in number is recognized as one of the trustworthy force in any of the righteous battle. With prayer and thanksgiving we resolved to double our membership and the members who pay the due. May God speed our cause and lead us on.

The Memorial Service. This year we have commemorated eighteen comrades. The oldest over eighty and the youngest seven years old, one of the Tokyo L.T.L's. Death purifies. We feel the breeze of the eternal world. For a moment the heavenly door is opened. We see hundreds and thousands of the white ribboners from East and West leading the way to the throne of our Eternal Reformer. Thus the Twenty-Fourth Convention was closed in joy and thanksgiving.

THE TWENTY FOURTH OF APRIL.

This is our president's birthday. At the convention we promised to strike the first blow thoughout Japan for the resolved Campaign of Education. A little paper bag with words "For the Abolition of the Brothel System," was made fifteen thousand in all, and sent over to the local unions together with the printed prospectus. In Tokyo, Osaka and Kobe we had big public Meetings, each attended by the enthusiastic audience. Six Tokyo unions united together and celebrated the birthday in the Shiba Park. We heartily congratulate the eighty third birthday of Madam Yajima for the good and progress of Japan.

THE PERSONAL NEWS.

The convention offered one month rest to Miss Moriya, who worked so hard last year during the Coronation and ever since. She left to Odawara for a while, to recover her health.

O. K.

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

WOMAN'S HERALD

(Fujin-shimpo)

A MONTH FILLED WITH ACTIVITIES.

Convention. The blue sky, green turf, and red flowers welcomed us to the Kyoritsu Girls School in Yokohama. Sixty delegates from all the parts of Japan gathered together for the twenty fourth time. The president, Madam Yajima, in her eighty third year, was first seen in the chapel. Although she has been sick for sometime she got up from her bed and came to Yokohama taking a nurse with her. She presided the openning of the Convention, selected the officers and retired leaving the chair to Madam Kozaki.

Abolition of the Brothel System by the Tenth of Taisho, 1921. Life and fire of the Convention were centered around this resolution. The Campaign of Education must be started for this purpose. First, five cents contributions shall be gathered from every body who has any interest to it. This gives the means to the work, and education to the giver. Second, public addresses and sermons must be given on this subject in every corner of Japan as often as possible. Third, the news papers and magazines must be used for this purpose throughout country. Fourth, Tracts shall be published and distributed at least one copy a head, which means sixty million copies before we accomplish this purpose. Thus we will try to arouse the public opinion against this accursed system and then on the fifth we shall sign the petition, by a million names at least, and ask the government to abolish this system forever from our beloved country Japan.

Shonen Shimpo. The monthly L.T.L. paper was missed by so many that the question was brought fouth for discussion. The resolution was made to revive it. Miss Moriya and four others were selected for its committee. Twenty-one yen was contributed at once for the purpose.

The National W.C.T.U. Officers. The following are newly elected as the national workers.

President	Madam Kaji Yajima.
Vice President	Mrs. Hana Ibuka.
Recording Sec'y...	Mrs. Ochimi Kubushiro.
Corresponding Sec'y	Mrs. Ko Fujii.
Treasurer	Mrs. Chiyo Kozaki.

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察―毎朝毎夕（但日曜、祭日を除く）

院長診察月、金、木午前及木午後六時

林、峯間兩副院長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）

電話番町六二番

東洋内科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後、入院診後應需

診察―毎朝（但祭日日曜及土曜日を除く）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（明治四十五年六月廿五日第三種郵便物認可）婦人新報第二百廿六號（大正五年四月二十八日發行毎月一回發行）

綺麗な歯といふのは、

單に白い歯といふ意味ではありません。

即ち

ライオン歯磨で、

磨いた歯の様に、

白い上に眞珠のやうな美しい

輝が添はなければなりません。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA